



油性エポキシ



二液



無鉛

F☆☆☆☆
ホルムアルデヒド
放散等級ATOMTMX

フロアトップ® #8500

コンクリート床用

長期耐久性

耐摩耗性

フロアトップ#8500は、エポキシ樹脂の特長である耐薬品性・耐摩耗性・耐衝撃性・密着性に優れ、ローラー塗装により容易に長期耐久性が得られます。通行の激しい床面の保護、防塵化・カラー化に最適な二液溶剤型のコンクリート床用塗料です。

エポキシ床
超高光沢

特長

1. 光沢のある仕上がり

鮮やかなつやがあり、空間を美しく彩ります。

2. 耐久性に優れる

二液型エポキシ塗料で、耐摩耗性に優れ、フォークリフトの往来の多い工場・倉庫床に適しています。

3. 手軽に塗装できる

高耐久でありながら、ローラーだけで手軽に塗装できます。

4. 抗菌工法も可能です

エポキシ抗菌剤(別売)を添加することにより、優れた抗菌性を発揮します。

用途

通行の激しい各種工場や通路・倉庫、ホコリを嫌う場所、耐薬品性・耐溶剤性の必要な床等

荷姿・塗り面積・標準色

【荷 姿】フロアトップ #8500

- ・16kgセット：主剤12kg／石油缶、硬化剤4kg／角缶
- ・4kgセット（小缶・受注生産）：主剤3kg／4L丸缶、硬化剤1kg／角缶

エポキシ用抗菌剤
450g／丸缶

【塗り面積】

コーティング工法	40～45㎡（16kgセット）
コーティング防滑工法	20～25㎡（16kgセット）

下地の状況や仕様により塗り面積は増減します

【標準色】9色（調色も承ります）

#9 サマーグリーン	#10 ディープグリーン	#11 グリーン	#15 ライムグリーン	#21 アメリカングレー
#31 スパニッシュブラウン	#50 アイボリー	#60 スカイブルー	#80 ホワイト	

※日塗工色見本には無いため色見本を掲載します。

※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。

標準色の指定・選定・ご注文は必ず別冊の標準カラーサンプルをお願いします。



塗装色は#60 スカイブルー（黄色は指定色）



16kgセット



4kgセット

(一社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	A03222
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

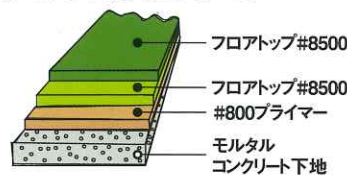
消防法：
主 剤／第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁
硬化剤／第四類第二石油類・
危険等級Ⅲ・火気厳禁

アトムクス株式会社

施工仕様例

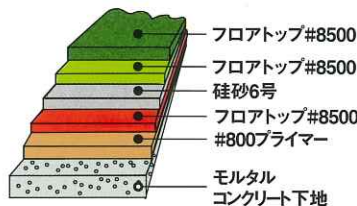
①コーティング工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング工法 (ESS-I)
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
上塗り①	フロアトップ®#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	16~48	
上塗り②	フロアトップ®#8500	合成シンナーNo.6	10	0.15	—	



②コーティング防滑工法

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)	コーティング防滑工法 (ESN-I)
下塗り	#800プライマー	—	—	0.20	2~24	
中塗り	フロアトップ®#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	直後	
骨材散布	珪砂6号	—	—	0.15~0.30	16~48	
上塗り①	フロアトップ®#8500	合成シンナーNo.6	10	0.30	16~48	
上塗り②	フロアトップ®#8500	合成シンナーNo.6	10	0.20	—	



●抗菌工法は、フロアトップ®#8500の主剤12kgにエポキシ用抗菌剤450gを混合後、硬化剤4kgを加え、電動攪拌機を用いて充分攪拌混合した後、塗装してください。
 注) 新設および塗り替えどちらの場合でも、下地処理は必ず必要です。下地処理方法は現場により異なりますので、施工仕様書を参照ください。

可使時間と硬化時間

気温	10℃	20℃	30℃
可使時間	5時間	4時間	2時間
硬化時間	48時間	24時間	12時間

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高温・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後にはかりを用いて計量、混合してください。
- 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- 取扱い時には皮膚・粘膜・眼等に入らぬように、適切な保護具を着用ください。
- #8500は#8500速乾と混合しないでください。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 塗装具の洗浄には合成シンナー No.6をご使用ください。
- 養生時間 歩行開放=24時間以上 重量物開放=48時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。下地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に下地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、下地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
 (ケット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで700以下、チャンネル4で5%以下を目安とする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に取り除いてください。
- コンクリート面をドライバ等で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合やさらに油污れが付着している面では、下地処理の方法や下塗り材の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- 吸い込みの激しいコンクリート面は、当社にお問い合わせください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300



<https://www.atomix.co.jp>

検索 フロアトップ8500